

石川県立津幡高等学校 創立 100 周年記念事業 募金のお願い

皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日ごろは、石川県立津幡高等学校の充実・発展に多大なるご高配を賜りお礼申し上げます。

さて、本校は、来る令和 5 年（2023 年）には創立 100 周年を迎えることになりました。大正 13 年（1924 年）に河北農蚕学校として開校、昭和 11 年（1936 年）には県立津幡農学校と改称し、昭和 23 年（1948 年）には昭和 2 年（1927 年）に設立された津幡高等女学校と併合され、石川県立津幡高等学校となりました。地域や時代の要請に応え、学科の改編、分校の設置や統合、定時制の設置や廃止、学校分離や統合などを重ね、現在は、スポーツ健康科学科と総合学科の 2 学科を併置する全日制高校として、今日に至っております。



実行委員長 向 正則



学校長 山本 智秀

創立以来、23,000 人を超える卒業生を世に送り出し、地域社会の期待と時代の要請に着実に応えてきました。本校が、地域社会の確固たる信頼と揺るぎない名声を得ましたのも長年にわたる皆様のご支援の賜物であると深く感謝しております。

この、創立 100 周年という節目を迎えるにあたり、創立 100 周年記念事業実行委員会を組織し、協議を重ねてまいりました。現役の生徒に、より良い学びの環境を整え、物心両面でサポートを続けていく必要があることから、教育環境の充実を図る一つとして、次の事業を記念事業として行うことといたしました。

(1) 視聴覚室改修事業（予算 1,600 万円）

視聴覚室の空調設備、机椅子の新調、募金に係る諸経費です。

(2) 創立百周年記念碑制作事業（100 万円）

本校の歴史を後世に伝えるために高校の沿革銘板を制作いたします。

(3) 百年史刊行事業（予算 650 万円）

これまでの周年史を再編したものに、近 10 年の歴史を加え、校史を彩るトピックスと特集記事を掲載した内容で記念誌を制作いたします。

視聴覚室は、日ごろの学習活動や会議、部活動に利用するため、昭和 46 年（1971 年）に新築された図書館棟に併設されました。利用にあたっては、空調機器の設備がないため、時期においては生徒や教職員等の健康面への影響も危惧されておりました。創立 100 周年を機に空調機器を設置し、老朽化した机と椅子も新調して、授業やミーティングなど日常的に利用できるように改修して、生徒と教職員等が集い対話し、アイデアを出しあえる場所として活用していただきたいと考えています。

つきましては、これらの事業を実施するにあたり、何かと出費多端の折で誠に恐縮ではございますが、趣旨をお汲み取りいただき本校のさらなる発展と飛躍を願い、格別のご芳志を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

令和 4 年 7 月吉日
石川県立津幡高等学校創立 100 周年記念事業実行委員会